

## 事業のねらいと効果

### (1) 自動観測環境の整備とデータ閲覧用webアプリ導入

漁場の環境情報取得方法に関して、機器導入による自動化・スマート化を推進し、漁業者の水域データ把握のリアルタイム化に加え、今まで手計測であった観測作業の負担低減を実現する。

### (2) 蓄積データの活用によるAI（機械学習）解析と予測モデルの構築

10年以上蓄積してきた愛南町や愛媛大学が保有する水質データを、養殖現場での魚病や赤潮等の過去発生パターンのAI解析・モデル構築に活用することで、予測・早期予防を実現し、漁業被害の低減に貢献する。

